

# コガネムシ プラスの防除で より『いいね』



## ビーラム® プラス

粒 剤

- ネコブセンチュウとコガネムシ類の同時防除が可能でかんしょの秀品率の向上が期待できます。
- 残効性に優れています。
- 臭気が少なく扱いやすい粒剤です。



ビーラム®に  
コガネムシ防除がプラス!

ネコブセンチュウ



コガネムシ類



## 適用害虫および使用方法

2020年1月現在の登録内容

作物名	適用害虫名	使用量	使用時期	使用回数*	使用方法
かんしょ	ネコブセンチュウ コガネムシ類	20kg/10a	植付前	本剤……………1回 イミダクロプリド……………3回 (植付前の土壌混和は1回、散布は2回) フルオピラム……………1回	全面土壌混和

\*印は収穫物への残留回避のため、本剤およびそれぞれの有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示します。

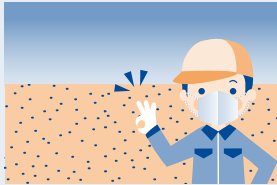
## 上手な使い方

防除効果を十分に発揮するために、①均一な散布、②十分な混和がととも重要です!

ポイント!

散布

植付、は種前に土壌全面に均一に散布して下さい。



ポイント!

混和

表層から20cm程度の深さまで、ムラがないように、丁寧に土壌と混和して下さい。(土壌中の線虫は地表面から10-20cmの層に多く分布)



処理時の土壌の水分条件は手で握って開くとやや割れ目ができる程度が目安です。



長年の連作により線虫密度が高まっている圃場や、前作の残渣の残る圃場等、線虫被害が多いと予想される圃場では他の薬剤(土壌くん蒸剤)との体系処理をお奨めします。

防除効果を十分に発揮するために、**薬剤を土壌中に均一に処理する必要があります!**



ビーラム<sup>®</sup>プラス粒剤



効果の得られない範囲

<優れた効果>

薬剤が根の周りに均一に存在



均一な散布・十分な混和

薬剤の分布する域で効果が得られる

<効果不足>

薬剤が根の周りに不均一に存在



処理時の薬剤の偏り・不十分な混和

処理後の混和深が浅い

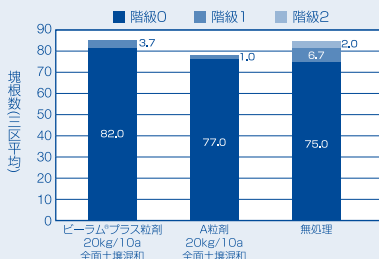
薬剤の分布しない域では効果が得られない

\*本剤の使用方法は「全面土壌混和」です。使用方法を守ってご使用下さい。

## 効果

### ネコブセンチュウに対する効果

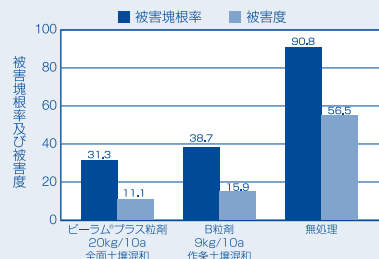
平成29年 鹿児島県農業開発総合センター大隅支場



品種:コガネセンガン  
 発生:少発生  
 植付:5月17日  
 面積:1区25.2㎡ 3連刺  
 処理:5月17日(植付直前)  
 調査:9月26日 各区20株  
 焼酎用かんしょ出荷基準に従って50g以上の塊根を下記階級別に調査。  
 階級0:被害無し  
 階級1:商品化可に相当する軽微被害のみ  
 階級2:センチュウによるくびれ、裂開の甚大被害があり商品化不可

### コガネムシ類に対する効果

平成29年 日本植物防疫協会宮崎試験場



品種:宮崎紅  
 発生:多発生(放虫)  
 植付:6月8日  
 面積:1区5.8㎡ 16株 3反復  
 処理:6月8日(植付直前)  
 放虫:7月21日から8月18日に各区中央部にドウガネブイブイ、アオドウガネの卵・ふ化幼虫を放飼  
 調査:11月6日 各区10株 約100g以上の塊根について被害程度別に調査

## 注意事項

- 蚕に対して長期間毒性があるので、絶対に桑葉にかからないようにして下さい。
- ミツバチに対して影響があるので、ミツバチの巣箱およびその周辺にかからないようにして下さい。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

- 誤食などのないよう注意して下さい。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の担当を受けて下さい。
- 本剤は眼に対して刺激性があるので、眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の担当を受けて下さい。
- 散布の際は農薬用マスク、手袋、長スボン・長袖の作業衣などを着用して下さい。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをして下さい。
- 直射日光を避け、食品と区別して、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管して下さい。

●使用前にはラベルをよく読んで下さい。●ラベルの記載以外には使用しないで下さい。●本剤は小児の手の届く所には置かないで下さい。

バイエル クロップサイエンス株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-5 〒100-8262 <https://cropscience.bayer.jp/>

お客様相談室 ☎0120-575-078 9:00~12:00, 13:00~17:00 土・日・祝日を除く

F-1146 20.01. NY